

水產試驗場諸設備新營概要

趣旨

本縣ハ水產上頗ル有望ナル地位ヲ占ムルニ拘ラズ、斯業ノ發達未ダ充分ナラザルモノアリ、之ガ發達ヲ圖リ地方經濟ヲ充實セシムルハ焦眉ノ急務ニ屬ス、然ルニ縣ニ於テハ從來水產業ノ改良ニ就キ施設スル所アリ、殊ニ大正十一年度ヨリ本場ヲ設立シテ水產ニ關スル調查試驗ヲ施行シ以テ斯業ノ指導ヲナシ來リシモ、縣經濟ノ關係上其ノ施設ニ就キテハ遺憾ノ點無キ能ハザリキ。

偶々政府ハ本縣經濟界ノ不況ニ沈淪スルニ際シ、大正十五年度ヨリ產業助成費ヲ交付セラレ縣會亦之ヲ協贊セシニ依リ茲ニ本場ノ充實擴張ヲ見ルニ至リ。

経過

敷地ハ那霸市垣花町元沖繩刑務所跡地四千二百八十五坪ヲ本場用地トシテ三十箇年間大藏省ヨリ無償貸附ノ指令ヲ受ケ、此内二千百四坪餘ノ土盛地均ヲ行ヒタリ。

事務所其ノ他ノ陸上諸設備ハ本場ニ於テ計畫ヲ樹テ、更ニ其ノ實施設計ヲ土木課ニ於テナシ、工事ハ那霸市西新町二丁目十六番地外山源次郎ニ請負ハシメタリ。

一冷藏庫ハ農林省ニ於テ設計ヲナシ、日東製冰株式會社其ノ工事ヲ行ヒ、又指導船ハ農林省ニ於テ設計シ其ノ建造ニハ神戸製鋼所之ニ當レリ。

位 置 那霸市垣花町 一丁目八番地

地 坪 二千百四坪餘 但シ道路其他

建物坪數 參百六坪半

起工 昭和二年五月

竣工 昭和三年三月（但シ貝細工々場及アクリアリーム室ハ昭和四年三月竣工セリ）

建設費豫算

本場建設ノ爲メ交付セラレタル産業助成費左ノ如シ

事項 大正十五年度 昭和元年 昭和二年度

水產試驗場建築助成金 二四、七八〇圓

漁業指導船建造助成金 一〇〇、〇〇〇圓

冷藏庫建造助成金 四九、七〇〇圓

製造試驗設備新營助成金 一〇、〇〇〇圓

而シテ右ノ内水產試驗場建築物中事務室ハ當初木造ノ計畫ナリシテ鐵筋「コンクリート」造トシ、指導船ハ七十噸百五十馬力ノ豫定ヲ變更シテ百噸、二百馬力トナセル等他ノ模範トナル様施設シ、產業助成費ノ交付條件ニ違フコト無キ

ヲ期セリ。

尙ホ大正十五年及昭和二年ノ兩年度ニ於テハ工事契約手續其ノ他ノ事情ニヨリ、指導船ノ竣工遅レ又一面ニ於テハ敷地貸付手續ノタメ建築工事遲レタル關係上產業助成費、經常費、本場事業費ニ剩餘ヲ生ジタルガ、大正十五年度剩餘金ハ

主トシテ指導船用調査試験器具、機械費、冷蔵試験用器具機械費、分析用器具費、罐詰製造用器具機械費、事務室及研究室用備品費、養殖試験用備品費、圖書印刷費等ニ充當シ、又昭和二年度剩餘金ハ主トシテ「アクアリーム」室設備費、貝細工工場建設費其ノ他備品費ニ充當シ、各設備ノ完成ヲ計リ所期ノ試験調査事業ノ遂行ニ支障ナカラシメンコトヲ期セリ。

新築落成式

本場新廳舍並ニ諸設備ハ昭和二年五月其工ヲ起シテヨリ、同二年十二月一部ノ工事成リ、那霸市東町ヨリ現在ノ地ニ事務所ヲ移シ各種調査試験ノ施行ヲナスト共ニ工事ノ進捗ニ努メタリ、而シテ同四年三月諸設備茲ニ完成セルヲ以テ同月三十日之ガ落成式ヲ舉行シタリ。

當日ハ天氣清朗ニシテ、那霸港内ニテハ發動機漁船滿艦節ヲナシテ本場落成式ヲ祝ス、午前十一時ヨリ舉式來賓約二百五十名土木課長代理本山技師ノ工事報告、細川本縣知事ノ式辭、農林省水產局長代理關口農林技師、平良縣會議長、小嶺那霸市長代理平良加、照屋縣水產會副會長等ノ祝詞、尋テ田代水產試驗場長ノ答辭ヲ以テ式ヲ終了シ、場内ニ於テ祝宴ヲ催シ手踊、爬龍船競争等ノ餘興ノ催アリタリ、又場内ハ一般ノ縦覽ニ供シ、且ツ賣店ヲ設ク罐詰、蒲鉾、雲丹等本場製品ノ即賣ヲナセシニ極メテ盛況ヲ呈セリ。

今工事報告、式辭及祝詞等主ナルモノヲ記スレバ左ノ如シ。

工事報告

水產試驗場新築工事完成シ、茲ニ本日落成式ヲ行フニ當リ該工事ノ報告テナスハ本職ノ最モ光榮トスル所ナリ、願フ
ニ本廳舍竝附屬建物新築工事ハ大正十五年以來國庫ヨリ產業助成金ノ交附ヲ受ケ縣會ノ議決ヲ經、昭和二年五月工ヲ起

シ昭和三年三月其工ヲ完成スルニ至レルモノニシテ設計ノ大要並ニ工事ノ概要左ノ如シ。

敷地面積ハ二千百四坪餘ノ内道路敷地ヲ除キ構内面積一千九百十八坪餘ニシテ元司法省用地ヲ水産試驗場用地トシテ大藏省ヨリ無償貸附ヲ受ケ地均シ工事ヲ行ヒタリ、建築物ハ本館及製造物置、調理場、製造試驗室、焙乾裝置室、實驗室、冷藏庫及機械室、附屬事務室等建物坪數二百八十坪一合、内本館及冷藏庫機械室ハ鐵筋「コンクリート」造、平屋建其他ハ木造ニシテ之ニ周圍塀、附屬門、棚、養魚池、排水工事費其他ノ雜費ヲ合セ工費總額七萬九千三百六十七圓十五錢ヲ要セリ、本建築ハ專ラ堅牢ト實用ヲ旨トシ採光通風等衛生上ノ施設ニ關シテハ特ニ注意ヲ拂ヒ其外觀ニ於テハ必ズシモ華美ナリト云フヲ得ザルモ、風光明媚ナル那霸港灣ノ美觀ヲ損ゼザランコトニ勉メタリ、茲ニ建築工事竣工ヲ告ゲ本日其式典ヲ舉グアルニ當リ工事ノ梗概ヲ報告ス。

昭和四年三月三十日

式辭

沖繩縣土木課長 長尾貞作

本日茲ニ水產試驗場新築落成式ヲ舉グルニ當リ各位ノ貴臨ヲ辱ウシタルハ感謝ニ堪エズ、顧フニ本縣ハ海岸線ノ延長三百餘里ニ達シ大小六十有餘ノ島嶼蜿蜒トシテ連リ、到ル所海洋ノ富源ヲ開拓スベキモノ頗ル多シ、然リト離モ從來之ガ指導開發ノ機關タルベキ水產試驗場ノ設備ニ缺クル所アルハ最モ遺憾トセリ仍テ之方擴張充實ヲ計ルハ多年當業者ノ要望セシ所ニシテ又本縣ノ開發上焦眉ノ急務タリシナリ、政府ハ大正十五年度ヨリ產業助成費ヲ交付セラレ縣會ノ協贊ヲ經テ昭和二年五月本場新築工事ヲ起シ茲ニ落成ヲ見ルニ至リタルハ本縣水產業ノ刷新ヲ期スル第一步ニシテ詢ニ慶賀ニ堪エザルナリ、庶幾ハ本場ニ從事スル場員諸君自今克ク協力一致以テ益々研鑽ヲ積ミ各其職責ヲ盡サレンコトヲ、又當

業者各位ニ於テモ良ク本場ヲ利用シ其ノ設立ノ目的ヲ達成し以テ益々斯業ノ發展ヲ期セラレントヲ、一言以テ式辭トナス。

昭和四年三月三十日

祝

辭

沖繩縣知事 細川長平

沖繩縣水產試驗場廳舍竝ニ試驗用室ノ建築正ニ工ヲ竣ヘ本日ヲ以テ開場式ヲ舉行セラルルニ至レルハ洵ニ慶賀ニ堪工ザル所ナリ。

抑々沖繩縣ノ產業ハ縣民經濟ノ基ヲ成スコト既ニ久シク漸ラ追フテ發達スペキノ要素無キニアラズト雖モ進歩ノ過程ニ於テ自然ノ災禍ヲ蒙リ或ハ不測ノ障碍ニ面シテ力ヲ伸ブルノ難キニ會フ、仍テ縣民舉リテ產業振興ノ方策ヲ按ズルニ方リ政府ハ其ノ志ヲ成サシムルノ必要ナルヲ認メ產業助成ノ計畫ヲ實行スルニ至レリ、而シテ水產業發達ニ資スペキノコト亦助成ノ重要事項ニシテ期スル所ハ漁場ノ開發魚類水藏ノ普及鮮魚輸送ノ改善及製品貯藏ノ完全等ヲ實現スルト共ニ水產試驗機關ヲ完備シ能ク本縣ノ實情ニ適應シテ面目ヲ一新セシメムトスルニ在リ縣當局ノ措置宜シキヲ得テ著々效果ヲ擧ゲ今又試驗場廳舍竝ニ試驗用室ヲ完成シ其ノ規模配置共ニ宜シキヲ得タリ冀クバ本試驗機關機能ノ發揮ニ遺憾ナカラシメテ當業者ノ努力ニ一層ノ善ヲ加ヘ地ノ利ヲ得タル本縣水產業ノ發達ヲ顯著ナラシメムコトヲ、所懷ヲ一言シテ祝辭トス。

昭和四年三月三十日

農林省水產局長 長瀬貞一

祝辭

惟フニ本縣ハ四面環海ニシテ水產開發上ノ地位他府縣ニ冠絶スルヲ以テ其ノ產額ニ於テモ本邦中首位ヲ占メザルベカラズ、然ルニ實際ノ有様ハ統計ニ質ス迄モナク一二ノ漁業ヲ見テ瞭カナルガ如ク先進地ニ比シ大ナル徑庭アリ是畢竟水產ニ關スル智識未ダ普及セズ海產生物ノ生態並ニ海洋狀況等詳カナラザルニ歸因ス依リテ斯業ニ關スル調査指導機關ノ完備ヲ期スルノ緊要ナルハ贅辯ヲ要セザル所ナリ。

然レバ今回本縣水產試驗場ヲ新築シ其ノ外觀內容ノ充實ヲ計ラレタルハ誠ニ機宜ニ適スルコトニシテ本縣產業振興上將又當業者ノ利益増進上實ニ意義アリトス希クバ今日ノ盛儀ニ鑑ミ將來斯業發達ノタメ遺憾ナク本場ヲ利用セラレンコトヲ、謹辭ヲ述ベテ祝辭トス。

昭和四年三月三十日

祝辭

沖繩縣々會議長 平 良 真 順

那霸港頭奥武山ノ松林帶ニ青ク水長ヘニ清キ所我沖繩縣立水產試驗場成リ本日茲ニ落成式ヲ舉グラル、不肖又此ノ盛典ニ列シ祝詞ヲ述ブルハ實ニ光榮トスル所ナリ。

抑モ本試驗場ハ本縣水產振興ノ意味ヨリ政府ガ多額ノ產業助成金ヲ交付シテ施設ニ著手セルモノニシテ本縣ノ如ク四面環海ノ島國ニ於テハ最モ緊要適切ナル施設トシテ洵ニ慶賀ニ堪エザル所ナリ。

今ヤ水產業ノ地位ハ近來益々重キヲ爲スハ世界ヲ通ズルノ趨勢ナリ就中我國ニ在リテハ古來國民生活ト緊密ナル關係ヲ有シ環海ノ地勢ト相俟ツテ夙ニ一大產業タルノ實ヲ示セルノミナラズ、既近時勢ノ刺戟ヲ受ケテ其ノ發達漸ク著シク比年面目ヲ革ムルノ概アルハ洵ニ欣快ノ至ナリ。

殊ニ本縣水產界モ近年政府ノ水產業施設獎勵等ノ爲メニ益々發達改善ノ跡アリ、故ニ政府ノ斯業作興ヲ念トシ一層之ニ適應スベキ方策ノ實行ニ努力サレ本試驗場設置ノ主旨ニ副ヘラレ「水產沖繩」ヲ建設シ將來海上ニ一大飛躍ヲ試ミラレントコトヲ望ム、茲ニ謹ンデ祝詞ヲ述ブ。

昭和四年三月三十日

那霸市長代理

祝辭
助役平良加

本縣ハ土地狹クシテ人口多ク其ノ密度ハ他府縣ニ例ヲ見ザル狀態ナルガ陸上ノ耕耘ハ其ノ生産ヲ增加シ得ベキ限度アリテ將來其ノ收獲人口ノ增加ニ伴ハザルヲ遺憾トス。

然ルニ之ヲ水產方面ヨリ見ルニ海岸線ノ延長三百十五里ニ及ビ暖流ハ良ク之ヲ灌洗スルヲ以テ重要魚族ノ棲息ニ最モ適シ、且ツ海洋ハ畦畔ナキ區域ナルヲ以テ之ヲ充分利用シテ盡クル所ナク所謂無盡ノ寶庫ナリ、故ニ其ノ施設ト努力ノ如何ニ依リテハ本縣水產業ノ伸張大ニ見ルベキモノアルハ瞭ナリ。

今ヤ多年當業者ノ期待セシ水產試驗場ノ新築工事成リ本日其ノ落成式ヲ舉行セラル吾人ノ歡喜何モノカ之ニ加ヘンヤ希クハ將來益々調査研究ヲ進ムルト共ニ當業者ヲ誘導扶掖シ以テ水產業ノ改善發達ニ資セラレン事ヲ、一言無辭ヲ述べテ祝辭トス。

昭和四年三月三十日

沖繩縣水產會副會長照屋林顯

事務所其他一般的設備